

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020審査員特別賞
「未来を耕す」の部

GRAND PRIX

株式会社 ウィズファーム (長野県松川町)

受賞理由 ノウフクJAS第1号

ノウフクの社会的認知向上や販路の拡大を目指し、ノウフクJASの認証を受けた初めての事業者です。県外の販売会への参加や講演活動など、その取り組みは先進性や独創性に富んでいます。



概要 りんごなど多品種栽培で作業を細分化

2017年に設立し、高齢により規模縮小するという近隣の農家から40坪のりんご畑を借りて農業を始めました。工賃向上と販路の拡大、農福連携をPRすることを目的に2019年11月にノウフクJASを取得しました。県外の販売会に参加し、講演活動にも努めています。

「株式会社ひだまり」から知的障害者、精神障害者、身体障害者を15人受け入れています。りんごやぶどうなど5種の果物のほか、6種類の野菜を栽培し、りんごジュースの委託加工もしています。2020年からインターネット通販を始め、全国に農産物を届けています。



成果 耕作放棄地の拡大を抑える

＜農林水産業＞

- ・2017年4月に認定農業者を取得しました。りんごの栽培面積が増え、年間作業日数は269日に達しました。
- ・地域農家や町との信頼ができたため、農地借用・購入の依頼が多く寄せられ、農地面積は175坪まで拡大。

＜障害者等＞

- ・平均を大きく上回る平均工賃を実現しました。中には月5万円以上受け取る方もいます。

- ・働きぶりが認められ、1人が地域の農業法人に一般就労しました。

＜地域＞

- ・各種イベントやマルシェに参加し、地域内外の人びとの交流が生まれています。
- ・農福連携を理解いただいた近隣農家から「数年後、うちの畑もウィズファームにお願いして障害者の人たちと維持して欲しい」と言っています。

ノウフク